

1 学校経営目標

八王子市立中山小学校は、八王子市の「ビジョンはちおうじの教育」に則り、豊かな自然と温かな地域を十分に生かしつつ、公教育の目的である基礎学力の定着・向上と人間形成をバランスよく育成するため、個に応じたきめ細かな教育活動を展開し、保護者・地域の信託に応える学校づくりを進める。

2 目指す学校

保護者や地域との連携と理解・協力の下、児童の発達段階に応じた「知・徳・体」のバランスのとれた教育を行い、地域、社会に貢献する人間を、義務教育9年間を視野に入れて育成する。いつでも、どこでも、通用する人になるための基を『楽しく学べる学校』

3 今年度の重点目標と具体的な方策

○確かな学力を育む教育

①年間指導計画に基づいた指導。「週ごとの指導計画」の確実な記載・提出・進行管理。

②授業をインクルーシブの視点で見直す。

【場の構造化】

(例)・教室内の物品を決められた場所に置くようにする。
・板書する際にどこに何を書くか、どの色のチョークを使うかなどをあらかじめ決めておく。

【時間の構造化】

(例)・授業の流れを黒板に提示し、見通しをもたせる。

【視覚化】

(例)・挿絵、写真、動画などを効果的に活用する。
・思考の過程を作業手順を「見える化」する。

③児童の考えを深め、広げる授業を実践

(例)・児童による課題の設定
・スパイタイム、ペア学習、集団検討を通して、児童が学び合い、高め合う学習活動を展開
(「個別最適な学び」と「協働的な学びの」一体的な充実)

④1人1台の学習用端末を効果的に活用した授業 八王子市版情報活用能力系統表に基づく具体的な取組

⑤校内研究の充実

・特別活動の研究に主体的に参加、研究授業3回実施
・全校共通の取組の確認と徹底

⑥授業観察・日常の授業の積極的な見学

⑦ピオトープ、田んぼを活用した学習の充実

・学校運営協議会やおやじの会との連携

○中山中学校グループにおける小中一貫教育の推進～キャリア教育の充実～

①中山中学校グループでの体系的・系統的な取組にするため、キャリア教育の全体計画の見直し

②「生活科」、「理科」、「総合的な学習の時間」の年間指導計画の見直し、野菜や稲を育てる活動を中心としたキャリア教育の充実

(例)・育てたものを食べる活動、育てたものを売る活動
・稲の栽培から収穫、餅つき、わら細工作りまでの活動（5年）

③特別活動の充実、異学年交流・たてわり班活動、学級活動での「一人ひとりのキャリア育成と自己実現」の時間の工夫

(例)・さつまいもの栽培から焼きいも祭りの一連の活動
・たてわり班による清掃活動
・金曜日のロング昼休みを活用したたてわり遊び、異学年交流
・「はちおうじっ子キャリア・パスポート」を活用して自己の変容や成長を自己評価する場面の設定

④3月の「さくら祭り」は中山中生徒会が主体で児童・生徒や地域と協力して開催し、働くことを身近に経験できるように（5・6年）

○多様な教育的ニーズに対応した教育

①特別支援教育の推進

・特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を実施。特別支援教育に関わる研修。
・特別支援教育の視点による児童理解。一人ひとりの特性を踏まえた具体的な手だての工夫
・特別支援教室「なないろ」での巡回指導との連携、通常の学級での指導に活用

②不登校児童への適切な対応

③いじめの防止及び早期発見、解消に向けた取組

・児童が安心して生活できる学級・学校風土…魅力ある授業の実現、道徳教育及び体験活動の充実、自己肯定感や自己有用感を高める取組の充実、校内研修等を通して、教職員一人ひとりの人権意識を高める
・教員が子どもたちと長く一緒に、同じ場にいること
(例)中休み、昼休みは子どもたちと一緒に過ごす
・いじめを許さない指導の徹底…全学級で「いじめに関する授業」を年3回以上実施
・児童からの訴えを確実に受け止める体制の構築…全ての児童を対象に、スクールカウンセラーによる面接、QUアンケートを4～6年生の全児童に実施
・学期ごとに「いじめに関わるアンケート」を活用、気になる記述は速やかに保護者へ連絡
・学校いじめ対策委員会での組織的ないじめに関する情報共有、対応に関する記録の徹底

○働き方改革の一層の推進～子どもたちの豊かな学びや成長につなげるために～

・教員が教育活動に専念できる環境を整え、子どもたちと向き合う時間を確保 (例)・2学期の通知表の所見を取りやめ、希望者のみ面談 ・学校だよりや学年だよりの内容の精選